

一般社団法人 光融合技術協会

1、法人概要

(法人名称)	一般社団法人 光融合技術協会	
(所在地)	栃木県宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学地域共生研究開発センター内	
(連絡先)	akira.ono1257@gmail.com	
(設立)	2017年1月19日	
(役員)	代表理事・会長	谷田貝豊彦 (宇都宮大学教授)
	代表理事・副会長	鈴木昇 (宇都宮大学教授)
	理事・業務執行役員	小野明 (宇都宮大学コーディネータ/客員教授)
	理事副業務執行役員	鈴木巧一 (株式会社サーフテックトランスナショナル代表取締役 兼フラウンホーファーFEP 日本代表)
	理事	原田努 (株式会社ジャステックス代表取締役社長)
	理事	生水利明 (オプトグリーン株式会社代表取締役)
	理事	宇津野操 (特定非営利活動法人日本フォトンクス協議会 事務局長)
	理事	山口望 (株式会社オプトロニクス社取締役社長室長)
	理事	戸津健太郎 (東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 准教授)
	理事	永井順一 (ナノフィルム・ラボラトリー代表)
	理事	小山有 (弁理士)
	監事	清原元輔 (清原光学株式会社 取締役会長)
	監事	横倉隆 (元東京理科大学 理事)
	顧問	志村努 (東京大学 生産技術研究所 教授)
	社員	石井清 (元宇都宮大学教授)
		大谷毅 (元企業技術者)
		田中一郎 (元企業技術者)

2、事業内容

当法人は、一般社団法人の設立と効率的な運営を促進することにより、日本国の光学関連産業の維持・発展に寄与することをもって、会員の経済的発展など共通の利益を図る活動を目的とし、その目的に資するため、宇都宮大学、公的機関、この法人および会員との産学官連携によって次の事業を行う。

- (1) 光学関連産業発展のための基盤技術開発(以下プログラム事業と呼ぶ)の実施
- (2) 光学関連企業の特定新規事業のための開発・試作(以下プロジェクト事業と呼ぶ)。

- (3) 光学関連技術情報収集、技術者向け教育、技術相談（以下コンソーシアム事業と呼ぶ）
- (4) 光学技術に関する各種研究費助成ファンドの助成金等によるさらなる技術開発環境の整備

3、設立の経緯と取組み

1) 背景

半導体リソグラフィ、液晶テレビ、光通信、デジカメ等、光技術は今まで、日本の産業の牽引技術でありました。しかし、新興国の技術向上、欧米のIT 技術革命と「前門の虎後門の狼」に挟まれて今後への確固たる方向性が見えない状態に陥りかねません。これを打破するために産学官が持てるものを集結して広く産業に直結した光技術の研究開発拠点の設立が必要と考えます。

2) 設立理念

企業、特に中小企業、中堅企業がもつ問題の解決、新規事業開拓のための市場・技術情報の入手、および新技術による実用的試作品開発を大学が保有する専門知識・ネットワークおよび世界最先端の設備機器を活用して解決する。これにより日本の光学関連産業の強化、発展に貢献する。

3) 活動計画

- * 大学や技術開発機関との共同研究開発、試作、コーディネーションによる問題解決、新技術・市場情報の提供などで企業に貢献する。将来の量産機の導入を想定した試作を推進する。また、高度な計測器を用いての試作品の評価検証を可能にする。
- * バイオ領域など、新しい用途分野への展開を可能にする共通基盤技術開発を実施する。
- * 現在保有する機器に加えて、補助金獲得による設備拡充と、それらを維持管理する人材の確保により、レベルアップを図る。

4、会員のメリット

1) 講演会に参画できる。

一口2名まで無料または優先的料金で講演会に参加できます。追加の参加者は有料とします。3名以上の参加が想定される場合は、二口以上の会費をお薦めします。

2) 設備装置を優先的利用料で借用できる。

口数に応じた割引を設定します。

3) コンソーシアム事業、プログラム事業、プロジェクト事業に参加できる。

（講演会以外は有料となります）。

(ア) コンソーシアム事業

講演会、技術トレーニング、技術相談会、欧州研究所訪問など

(イ) プログラム事業

複数企業参加型の企業共通基盤技術開発

(ウ) プロジェクト事業

個々の企業の課題の解決